



新春を迎えて

川越市長 舟橋 功一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい平成二十一年の新春を健やかに迎

えのことに喜び申し上げます。また、日ごろから市政に
対し、温かいご支援とご協力を頂いておりますことに、心
からお礼を申し上げます。

今春、川越を舞台に、NHK連続テレビ小説「つばさ」
が始まります。埼玉県では初めての舞台の地として、本市
が選ばれたことは、たいへん喜ばしいことでありま



6月14日、川越駅を出発し渋谷駅に向かう東武東上線の車両

な小江戸川越の風景が、テレビを通して全国に紹介されます。この事は、大きな経済効果
を川越にもたらすと期待しております。これも市民の皆様が時の鐘・蔵造りの町並み
など歴史的建造物を守り、川越まつりに代表される川越独自の文化を大切にしてきたこ
とが、評価されたものと誇らしく感じていきます。

市では、川越商工会議所など三十七団体で構成する「つばさ」推進協議会を設立し、
「つばさ」に対する協力などを実施しております。また、「つばさ」をきっかけとして、初めて川越を訪れる観光客

写真は掲載することができません。
写真をご覧になりたい場合は、市役所など配布している、広報川越をご覧ください。



北部市街地から富士山を望む

の皆さんを、温かくもてなすことができるよう努めてまいります。そして、さらに多くの観光客の皆さんにお越しいただくため、観光環境の整備を進めております。正に今、川越は全国から注目を浴び、上昇気流に乗っております。観光客一千万人に向けて、大きな力になると期待しております。

また、昨年六月から、東京メトロ副都心線が渋谷まで開業し、東武東上線と相互直通運転されております。このことにより、市民の皆様の都心に向かう選択肢が一つ増えました。都心から川越を訪れる観光客も増加し、「こんなに東京に近く、江戸情緒が残るまちがあったのか」と、驚きと共に、高い評価を頂きました。市民の皆様が住むことに誇りを持てる川越の実現も、着々と進んでおります。

ここで、本市の現状について述べさせていただきます。

第三次川越市総合計画では、「ひと、まち、未来、みんなで作る いきいき川越」を将来都市像として、さまざまな施策を進めてまいりました。

少子高齢化の進展、家庭や地域における相互のつながりの希薄化など、私たちの生活を取り巻く環境は大きく変化しています。市民



親子の交流の場・子育て支援室